

「愛媛県公立学校事務職員育成指標」の概要

策定の目的

学校教育法の一部改正(平成29年4月1日施行)により、学校事務職員の職務が見直され、学校組織における唯一の総務・財務等に通じる専門職として、校務運営への参画を一層拡大し、より主体的・積極的に参画することが求められている。

本県では、本指標を活用して、学校事務職員が自身のキャリアステージにおいて必要となる資質・能力を把握するとともに、学校事務職員に求められる資質・能力を職階ごとに示し、継続的に学び続けることで、本県の教育に寄与できる力量を身に付けることを目的とする。

策定指標

【愛媛県の学校事務職員のキャリアステージ】

学校運営に主体的に参画するためには、キャリアステージに応じた育成のあり方や能力を最大限活かす体制の整備等が重要であり、職階に応じて求められる能力をより早期の段階から習得しながら、成長し続けるための目安として示した。

【愛媛県の学校事務職員に求められる資質・能力】

キャリアを通して、教員とは異なる視点から学校運営への参画が求められており、そのために必要な資質・能力をキャリアステージを通して四つの観点から示した。

【学校事務職員のキャリアステージにおける指標】

採用から退職までの長きにわたる事務職員生活を6段階のキャリアステージに分け、キャリア全体を俯瞰しながら、自らの目指すべき姿を示した。

期待される効果

- 具体的な内容を明示することにより、今後必要な資質・能力など将来的な展望や見通しをもった上で、自身の現在のキャリアステージにおける目指す姿へ積極的に取り組むことができる。
- 職責や経験等に応じた資質・能力に加え、リーダー等による計画的・効果的な指導・助言を通じて、人材育成及び資質向上を図ることができる。
- 行政職員としての専門性を生かして、より主体的・積極的に学校運営に参画することで、事務処理の効率化や業務改善の推進が図られ、結果的に学校事務職員の負担軽減につなげることができる。

目指す学校事務職員像

- 新しい時代を切り拓いていく子どもの豊かな育ちを、地域とともに創造できる学校事務職員
- 学校経営ビジョンの達成に向けマネジメント力を有し、主体的に行動できる学校事務職員
- 専門スキルを活かす基盤としての豊かで幅の広い教養を持ち、社会との接点を持った学校事務職員